

新・専大オリジナル携帯きせかえ

「センディ」バージョンのきせかえ完成

「センディ」バージョン「きせかえ」(一部)



本学オリジナルの携帯電話待ち受け画面「黒門」バージョンと「センディ」バージョンは5月から配信されているが(本紙5月号既報)、そのうち「センディ」バージョンの「きせかえ」が完成し、きせかえ専用サイト『遊デザイン』で6月30日から配信されている。

「きせかえ」とは、自分の携帯電話の画面を好みのテーマ色に簡単に換えられる機能のこと。「センディ」きせかえを専用サイトからダウンロードすると待ち受け画面、電話発着信画面、メニュー画面、電池や電波マークなどがオリジナルの「センディ」バージョンデザインに変更できる。
 ※QRコードからダウンロードできます。有料



(525円。売上の一部は専修大学に還元されます)

※きせかえ:「きせかえツール」「ケータイアレンジ」「きせかえアレンジ」を総称しています。

★「きせかえツール」は docomo の登録商標です。

★「ケータイアレンジ」は au の登録商標です。

★「きせかえアレンジ」は SoftBank の登録商標です。

※「待ち受け」は電話発着信、メニュー画面、電池・電波マークを除いた、待ち受け画面だけの商品です。

※お使いの機種によってはサービスをご利用いただけない場合もあります。



▲ 3位 Tommy のメンバー



▲ 瓶子学部長から銀メダルを授与される2位 Mcdonald's のメンバー



▲ 優勝した Mc Student のプレゼン

夢をカタチに…高校生59人が参加 —— 経営、ビジネスを身近に感じて ——



▲ ショータを石川先生が行った講演

瓶子長幸学部長は「実際に企画を考えることで、経営とは何か」を感じてほしいとあいさつ。同社・人事本部の山本彰彦さん、大川泰幸さんの進行で講座がスタートした。

チューターの佐々木界人さん(経営3)は「自主的に取り組めるようにサポートに徹しました。今日の経験を、今後の進路選択に生かしていただければうれしい」と話した。

田キャンパスで開催された。高校では教わる機会が少ない「経営」についてレクチャー、グループワーク、プレゼンテーションを通して学んでもらおうと、(株)日本マクドナルドの協力を得て始まったこの企画も5回目となった。

熱心にプレゼン用のポスターを作成する高校生たち

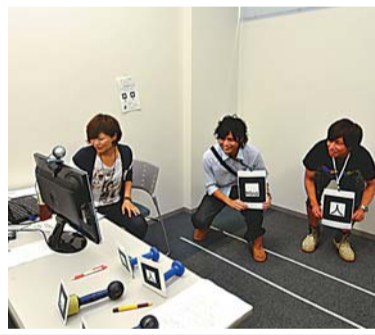


▲ メンバーから意見を引き出す、チューター役の大学生

「Mc Student」グループの男子生徒は「緊張して最初は意見をなかなか言えませんが、チューターの先輩が、メンバーの意見を引き出して、納得いく提案ができました」。

経営学部公開講座「第5回高校生のための経営学実践講座 夢をカタチにする挑戦 ステキなハンバーガーショップをプロデュースしよう」が7月18日、神

タートした。高校生59人が10グループに分かれ、学生チューターのサポートを受けながら、高校生もマクドナルドもうれしい企画」を熱心に話し合った。グループ全員がプレゼンテーションに参加し審査の結果、明確なコンセプトを打ち出し、フロアごとに異なる特徴を持った新店舗案を企画した「Mc Student」が1位となり、金メダルと記念品を授与された。2位は「Mc Student」が1位の先輩が、メンバーの意見を



7月24日、生田キャンパスの10号館を会場にネットワーク情報学部3年次の必修科目「プロジェクト」の中間発表会が行われた。12月の発表会に向けて学生たちは、さらに本格的な活動に入っていく。



▼ 神保町交差点そばにそびえる店舗



創業は1946年。町の中華そば店から出発。徐々にグループを拡大させ、総合輸出入貿易商社「健興通商」も傘下にある。

「新世界菜館」(傳健興代表取締役)は、四季折々の旬の味覚をふんだんに取り入れている上海料理の名店。



近頃の姉妹店である「上海朝市」、「咸亨酒店」両店もいずれ劣らぬ神保町の人気店。昼時は、オフィス街からの客でにぎわう。それぞれに個性を持たせており、「上海朝市」は手延べ麺、「咸亨酒店」はおかゆ料理がランチの「目玉」だ。「新世界菜館」は唐辛子そば、隠れメニューのカレーライスも評判だ。

名物上海ガニ 現地から直送 —本学前身の所在地だった

新世界菜館

1882(明治15)年、専修大学の前身・専修学校は、校舎を東京京橋区木挽町(現・中央区銀座3丁目)から神田区中猿樂町(現・千代田区神田神保町2-2)に移転した。その場所が現在の「新世界菜館」付近。専修学校が初めて文教の街・神田の一角に地歩を固めた意義深い地である。

※新世界菜館 東京都千代田区神田神保町2-2 新世界ビル 03(3261)4957(代)

店内は意匠が凝らされ、伝統的な調度品が随所に置かれている。豊かな、中国の歴史を肌で感じながら食事を楽しむことができる。

中国には頻りに出張する。初めて訪れた89年当時、今と違って気軽に旅するようなところではなかったですね。上海から力二の漁場(当時は蘇州・陽澄湖)まで、列車に揺られ一日がかりでした。

取締役総括部長は専修大学法学部の卒業生である長谷川伸一さん。学生時代にアルバイトとして働き、84年に卒業、同店に就職した。学生時代から中国の文学・文化や歴史が好きで、「お客様と話が弾む時、やりがいを感じます」と微笑む。

「新世界菜館」(傳健興代表取締役)は、四季折々の旬の味覚をふんだんに取り入れている上海料理の名店。

専大とときに 神田神保町探索